

1. 件名：「川内原子力発電所 1, 2号炉の地震等に係る新基準適合性審査  
（標準応答スペクトルの規制への取り入れに係る変更）に関する事  
業者ヒアリング（16）」

2. 日時：令和5年6月7日（水） 15時40分～17時25分

3. 場所：原子力規制庁9階耐震会議室

4. 出席者（※：テレビ会議システムによる出席）

原子力規制庁：名倉安全規制調整官、佐口上席安全審査官、谷主任安全審  
査官、鈴木安全審査専門職、井清係員、田島主任技術研究  
調査官※

九州電力株式会社：土木建築本部 副本部長 他5名

（このうち2名はテレビ会議システムによる出席）

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. 提出資料

＜＜本年6月5日に受取済み＞＞

- ・川内原子力発電所1号炉及び2号炉 標準応答スペクトルを考慮した地  
震動評価における地下構造モデルの設定について（コメント回答）

時間	自動文字起こし結果
00:00:04	はい規制庁鈴木地震津波続きですそれでは、これからですね。
00:00:09	仙台のヒアリング、標準応答スペクトル高齢者地震動評価地下構造モデルのコメント回答ですね。
00:00:15	こちらのヒアリングを第1回のヒアリングを始めたいと思います資料は、6月2日付で資料提出。
00:00:23	ありましたのでまずこの資料について九州電力から説明してください。
00:00:28	はい。九州電力の本村でございます資料番号 TTS028 を用いまして仙台の地下構造モデルの設定についてのコメント回答についてご説明させていただきます。
00:00:41	まず、コメントリストですけれども、5ページお願いします。5ページに、4月28日の審査会合でのコメント、地下構造モデルの見直しの方針の説明では、
00:00:54	単なる方針速度構造を見直して、観測事実と合わせ込むというだけではなく、評価及びそれ以降の観測事実を踏まえた地下構造モデルの更新間
00:01:06	かかる、論理構成、観測事実を再現できるという成立性とそれらの根拠を具体的に示すことということで、
00:01:15	5ページのNo.20の方に追加をしてございます。
00:01:19	No.19、それとNo.20のコメント回答ということで本日ご説明させていただきます。
00:01:27	6ページ7ページに、審査スケジュールを示してございます。6ページに、4月28日の会合でお示したスケジュール、7ページが今回見直しましたスケジュールになります。
00:01:39	後程詳細ご説明しますが、地下構造モデルについて、基本評価モデルへ見直す方針としておりまして7ページのスケジュールの方では、
00:01:51	象牙上段の塚構造モデルのところ、今までの現申請モデル等、評価モデルに分けて記載をしてございます。
00:02:01	現申請モデルのところについては、これまでいただいたコメント等、審査会合での説明実績を示しております。
00:02:09	また、基本モデルの方につきましては、ナンバー19と、20のコメントに対する対応方針を記載しております。
00:02:18	評価モデルへの見直し、強化モデルについて短周期から長周期までのすべての周期体への適用性について今回ご説明させていただきます。
00:02:29	スケジュールの方ですけれども、仙台の地下構造モデルに関する審査会合を6月のどこかで、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:02:36	地下構造モデルの確定後、速やかに野木自身はと、Ssの策定資料を提出させていただきます、審査会合を7月と、
00:02:46	いうふうに考えてございます。
00:02:49	Ss確定後、基礎地盤の安定性解析に入りまして、9月中旬にCを提出10月に審査会合、その後10月末に補正を考えてございます。
00:03:01	スケジュールについては以上となります。
00:03:04	8ページからが、コメント回答になります。
00:03:08	9ページに、2月10日と、4月28日にいただきました、審査会合のコメントを記載しております。
00:03:16	まず、2月10日の審査会合では、地下構造モデルの設定方針について、強化モデルを用いた場合に観測記録と整合するか、確認した上で、
00:03:29	浅部の地盤減衰や速度構造を見直すなど、どのように対応するか速やかに説明すること。
00:03:35	それと、4月28日の審査会合では、地下構造モデルの見直し方針の説明では、単なる方針速度構造を見直して、観測事実と合わせ込むというだけでなく、許可及びそれ以降の観測事実を踏まえた地下構造モデルの構築に係る論理構成。
00:03:54	観測事実を再現できるという成立性とそれらの根拠を具体的に示すこと。
00:03:59	現在予定しているスケジュール通り進まなかった場合、地下構造モデルを
00:04:05	評価モデルにする、対応を考えているかというようなコメントをいただいております。
00:04:11	これを踏まえまして10ページに、コメント回答方針を示しております。
00:04:20	現申請モデルに対する、コメントを踏まえまして強化モデル、
00:04:25	長周期体における理論的手法による評価に用いる解放基盤表面以深の地下構造モデルによる観測記録との整合性、及び
00:04:38	速度構造を見直したモデルによる観測記録との整合性の確認を実施しております。
00:04:43	まず、既許可モデルによる観測記録との整合性についてですけども、11ページに示しております。
00:04:54	⑪の2016年熊本地震の方針のようになりますが、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:05:02	これを見ますと、基本モデル、 $Q=100$ は現申請モデル、 $Q=12.5$ より、地盤減衰が小さく、応答はの応答スペクトルが短周期体で増大することにより、
00:05:15	周期 0.1 秒から 0.2 秒において現申請モデルに比べて観測記録との整合性が改善されております。
00:05:24	また、短周期体において観測記録を大きく上回り、
00:05:30	大きな保守性を有しております。
00:05:33	次に、
00:05:36	速度構造を見直したモデルによる、観測記録との整合性については 12 ページに示しております。速度構造を見直したモデルについては、前回のヒアリングでご説明した地下構造モデルになりますが、
00:05:51	参考②、69 ページから 75 ページに示しております。
00:06:00	すいません 70 ページをお願いいたします。
00:06:06	観測記録の応答スペクトルのピークは、0.1 秒から 0.2 秒に見られるのに対しまして現申請モデルや、既許可モデルでの応答はの応答スペクトルのピークは 0.3 秒から 0.4 秒に見られ、
00:06:22	利用者のピークがずれてございます。
00:06:24	この
00:06:25	ピークのずれについては、速度構造に起因すると考えられ、ピークを合わせるためには、速度を速くする必要があるため、
00:06:34	72 ページに示しております。2 号炉心 A1 周辺の建設時の PS 検層結果、
00:06:43	それと、73 ページから 75 ページに示している、速度層断面を参照し、速度構造の見直しを検討してございます。
00:06:53	速度構造を見直したモデルについては、71 ページに示しております。
00:07:00	EL-28.5 メーターから EL-200 メーターの $V_s$ につきましては、6001 周辺の PS 検層結果を踏まえ、AVS2150 と、
00:07:11	設定、EL-、200 メーターから EL-480 メーターの AVS については、上下層の速度を参照しまして VS2150 と設定してございます。
00:07:27	一方、EL-28.5 メーターから EL-480 メーターの $V_p$ につきましては、炉心位置周辺における PS 検層結果、
00:07:38	速度層断面、EL-、480 メーター。
00:07:54	いえ、
00:08:12	いいですかね。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:08:14	続きます。
00:08:16	見える。
00:08:18	−480メートル以深の微動アレイの速度構造をもとに、AVS2150の範囲は、同じVpの値になるよう、VP4400と設定しております。
00:08:31	なお、EL−200メートルからEL−480メートルまでの地下深部の速度構造について、それぞれVs2150、Vp4400と設定しておりますが、
00:08:48	地震観測記録やPS検層による直接的な地盤物性データがないため、
00:08:59	追加調査が、分析等により、妥当性の説明に時間を要すると考えてございます。
00:09:07	すいません12ページに戻っていただきまして、
00:09:13	この速度構造を見直したモデルによる観測記録との整合性についてですが、速度構造を見直したモデルは、先ほどご説明しました通り、現申請モデルに比べて、
00:09:27	速度を速くすることにより、現申請モデルに見られる0.3秒から0.4秒のピークが、
00:09:34	短縮体にずれることから、
00:09:37	0.1秒から0.2秒において、現申請モデルと比べて、
00:09:42	観測記録との整合性が改善されるものの、基本モデルと同程度となっております。
00:09:50	再度、
00:09:52	10ページをお願いします。
00:09:54	これらの観測記録の整合性の確認結果を踏まえまして二つ目のポツですね。
00:10:03	評価モデルによる観測記録との整合性について、0.1から0.2秒において現申請モデルに比べて、観測記録との整合性が改善し、短周期体において観測記録を大きく上回り、大きな補正を有すると。
00:10:22	3ポツで、速度構造を見直したモデルでは、ピークをずらすことによって、
00:10:28	現申請より整合性が改善するものの、EL−200メートルからEL−480メートルまでの速度構造については、
00:10:39	地震観測記録や、
00:10:42	PS検層による、直接的な地盤物性のデータがないため追加調査や分析等により、妥当性の説明時間を要すると考えております。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:10:53	二つ目の四角で、以上を踏まえまして経過措置期限を考慮し、迅速に、標準応答スペクトルを考慮した評価を行い、
00:11:03	安全裕度の向上を図るべきとの観点に立ち、強化モデルを用いる方針といたします。
00:11:11	三つ目の四角で、
00:11:14	評価モデルについては長周期体の地震動評価を目的に設定したモデルでありまして、周期 0.02 秒から 5 分までで定義される評定の藤スペクトルを考慮した地震動評価を実施するにあたり、
00:11:28	既許可以降継続的に取得している鉛直アレイの地震観測記録や、ボーリング孔内、減衰測定結果等の観測事実等に基づき、
00:11:38	短周期から長周期までのすべての周期体への適用性を確認を実施するという事としてございます。
00:11:47	この方針に基づきまして 13 ページからが地下構造モデルの設定概要になります。
00:11:55	14 ページをお願いします。
00:11:58	14 ページでは、既許可モデルを用いること、地震基盤相当面を AVS3100 の A 層上限に設定すること。
00:12:09	それと、既評価モデルは長周期体の地震動評価。
00:12:14	を目的にしておりますので、既許可以降継続的に取得している鉛直アレイの地震観測記録、それとボーリング孔内減衰測定結果等の観測事実等に基づき、
00:12:26	短周期体から長周期底までのすべての周期体への適用性の確認を実施するという事を記載してございます。
00:12:35	すべての周期体への適用性の確認については、15 ページにまとめております。
00:12:42	後程詳細はご説明いたしますが、観測記録の応答スペクトルによる確認、ボーリング孔内減衰測定結果等の伝達関数による確認により、着き評価モデルが、これらの観測。
00:12:57	事実と同等もしくは上回ることを確認し、全周期体への適用性を確認してございます。
00:13:04	また、短周期体短周期側では、特に大きな保守性を有することも確認してございます。概要は以上になりまして、次に地下構造モデルの設定の詳細について 16 ページ以降に示しております。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:13:21	17 ページに設定方針を記載しておりますが、先ほどの概要の 14 ページと同じ記載なので、割愛させていただきます。
00:13:31	ちょっと少し飛びますけども、評価モデルの適用性確認方針として 20 ページお願いいたします。
00:13:41	こちらについては、強化モデルの短周期から長周期までのすべての周期体への適用性についてということで (1)、地震観測記録の応答スペクトルによる確認、
00:13:54	ということで
00:13:57	千葉モデルによる応答は落とすべきところが地震観測記録の応答スペクトルと同等もしくは上回ることを確認いたします。
00:14:05	(2)、PS 検層モデルとの比較による適用性確認ということで、
00:14:13	中間モデルによる理論伝達関数が、PS 検層モデルによる理論伝達関数と同等もしくは上回ることを確認いたします。
00:14:23	21 ページをお願いします。
00:14:25	(1) の地震観測記録の応答スペクトルによる適用性の確認ということで協会自身最高取得した地震観測記録のうち、20 地震を用いまして、適用性を確認し、
00:14:39	します。
00:14:41	22 ページからが、適用性の確認結果になります。
00:14:46	23 ページから 32 ページまでで 20 地震の応答スペクトルの比較を実施しており、
00:14:55	これを見ますと、応答は応答スペクトルが、短周期から長周期までのすべての周期体において地震観測記録の応答スペクトルと同等もしくは上回る
00:15:07	ことを確認しております。
00:15:09	また、短周期側では、大きな保守性を有することを確認してございます。
00:15:16	少し飛びますけども 33 ページからは、
00:15:21	(2) PS 検層モデルとの比較による、
00:15:26	適用性確認になります。
00:15:28	追加調査により、獲られた VsVpQ 値をもとに、EL-118.5 メーターから、
00:15:39	EL-200 メーターまでの範囲の PS 検層モデルを設定いたします。
00:15:44	具体的にはですね、ちょっと飛びますけども、参考の④。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:15:51	の 85 ページになります。一つ目のポチで、旧 SN、
00:15:58	4 から KIII までの PS 検層結果を図に示しておりますが、EL-60 メーター付近で、速度構造のコントラストが見られます。
00:16:10	PS 検層結果における速度構造のコントラストは、ちょっと飛び飛びになりますけども参考②の 73 ページと 74 ページ。
00:16:20	の速度層断面、
00:16:25	の⑤速度層、それと、③④速度層とも、境界によるものと考えられてきて、一方、
00:16:36	参考②の、73 ページと 75 ページの、速度構造速度層断面ですね、これを見ますと、EL-18.5 メーターの解放基盤表面以深の
00:16:50	原子炉建屋直下、それと地震計位置は、概ね、⑤速度層に分類されることから、
00:16:58	PS 検層との比較による、
00:17:01	強化モデルの適用性確認は、原子炉建屋及び地震計が位置する⑤速度層における確認となるように、
00:17:11	EL-118.5 メーターから、EL-200 メーターの範囲で実施することとしております。
00:17:21	すいません 34 ページに、
00:17:25	戻っていただきまして、
00:17:29	PS 検層モデルの設定ということで追加調査結果により、獲られた VSVPQ 値をもとに、EL-118.5 メーターから EL-200 メーターまでの範囲で設定した H
00:17:43	PS 検層モデルを表に示してございます。
00:17:47	なお、原子炉設置位置付近の速度層断面では、EL-200 メーター以深まで、⑤速度層が分布していることから、EL-200 メーターで大きく速度構造は変わらないと。
00:18:01	考えられますので、EL-200 メーターに速度コントラストがないモデルを設定しております。
00:18:11	伝達関数の比較結果を、35 ページに示しております。評価モデルの油田伝達関数が、PS 検層モデルによる理論伝達関数に対して短周期から長周期までのすべての周期体において、
00:18:28	同等もしくは上回ることを確認しております。
00:18:32	また、短周期側で大きな保守性を有しております。
00:18:36	36 ページに、適用性確認結果のまとめを記載してございます。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:18:42	一つ目のポツ、それと、(1) (2) につきましては、先ほどご説明した内容をまとめたもの。
00:18:50	で、
00:18:51	(2) の後の一つ目のなお書きのところ、
00:18:56	EL-18.5 メーターから EL-118.5 メーターの範囲における、
00:19:04	2 条地震の応答スペクトルの比較では、水平方向の一部の観測記録の 0.1 秒から 0.2 秒付近において、
00:19:14	評価モデルによる応答はが局所的に、わずかに下回っております。
00:19:21	一方、EL-118.5 メーターから EL-200 メーターの範囲の
00:19:28	PS 検層モデルとの比較におきまして評価モデルは、田谷周期側で大きな保守性を有しております。
00:19:37	この EL-118.5 メーターから EL-200 メーターの範囲の保守性の寄与によりまして、EL-18.5 メーターから、
00:19:49	EL-200 メーターの範囲では、当該周期体においても十分な保守性が確保されることから、強化モデルの適用性に影響ないと判断しております。
00:20:02	具体的にはですね、42 ページからの、
00:20:07	補足の②に示しておりますが、
00:20:11	43 ページから、観測事実も整合性に係る検討ということで実施しております。
00:20:21	具体的には矢印の下ですね、43 ページの矢印の下の一つ目のポツですが、EL-18.5 メーターから EL-200 メーターまでの観測事実。
00:20:34	観測記録と、PS 検層モデルに基づきまして EL-200 メーターまで、
00:20:41	引き戻した観測記録を、
00:20:43	用いた応答スペクトルによる確認を実施しております。
00:20:48	まず、EL-118.5 メーターの最深部地震計の観測記録を PS 検層モデルで UL-200 メーターまで引き戻し、
00:20:59	その引き戻しは
00:21:01	強化モデルの EL-200 メーターに入力し、EL-18.5 メーターの解放基盤表面で応答はをするし、EL-18.5 メーターの観測記録と比較を実施しております。
00:21:18	観測記録をわずかに下回っております。②、③、12、⑫⑬の
00:21:26	地震を対象に、比較を実施しておりますが、
00:21:31	その結果を、44 ページから 47 ページに示しております。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:21:37	これによりますと、周期 0.1 秒から 0.2 秒付近において市岡モデルの応答はもう、
00:21:44	応答スペクトルは観測記録の応答スペクトルと同等もしくは上回ることから、教科モデルの適用性に影響ないことを確認しております。
00:21:55	最後、37 ページに戻っていただきまして、評定とスペクトルを考慮した地震動評価に用いる地下構造モデルとして下の表に示します、教科モデルを用いることとし、
00:22:10	地震基盤相当面を AVS3100 の宗常務に設定することとしてございます。
00:22:17	仙台の
00:22:19	地下構造モデルに関するご説明は以上でございます。
00:22:29	はい。ご説明ありがとうございます。
00:22:33	はい。それでは確認をしていきたいと思えます。
00:22:39	ヒアリングとしてではないですがこれまで前回 2 月ですねもともと仙台については、2 月の終わりに、
00:22:49	CEO の意見交換会から規制委員会委員と、
00:22:55	その時には速やかにという話だと。
00:22:58	少し間が空いていたので、前回の玄海の地下構造ね、議論した 4 月の会合のときに、
00:23:05	指摘というか、
00:23:08	こういうものはちゃんと示してくださいよということで申し上げて、
00:23:12	おりました。
00:23:17	その結果が 10 ページ、
00:23:21	大分間があいていたこともあるので、少し経緯も含めてですかねところの説明は、
00:23:28	ありまして、
00:23:31	結論としては、これは、
00:23:35	強化、
00:23:37	既許可の地下構造モデルをそのまま使いますと。
00:23:42	いうこと何か標準応答スペクトル用の地下構造モデルになるものを作る、或いはその許可から切り取ってきて標準を通すべきと地下構造モデルと名付けるわけでもなくて、
00:23:54	本当に許可の地下構造もですね。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:23:56	地震基盤ここなのでここに入力しますという使い方をするわけですね。 はい。
00:24:01	少し経緯はありつつも、許可のモデルを使うと、
00:24:07	いうところで2月からどういう検討してただいま最後結論としてはその 結論に行き着いたと。
00:24:14	いうことなんですけど、これは先ほどの
00:24:18	限界のところでも、なんですけど、
00:24:21	経緯がありましたということで3ポツの13ページからが、地下構造モ デルの概要ということで始まるわけなんですけど、
00:24:30	既許可の、
00:24:32	モデルをそのまま使うにあたって、
00:24:36	そもそも極れるって、
00:24:39	どういう作り方をし、さっき玄海するときにも別に長周期側で使っていた という話であって、別にいいという、
00:24:48	何か長周期専用に使っていたとかそういう話もないんですよっていう、 その限界の話なんですけども、
00:24:53	こっちも仙台の方もですね、使うというのはわかったんですけど、使う にあたって、まず何を説明しなきゃいけないのかというところを、
00:25:03	多分、何か整理がされてないんじゃないかなと思ってですね。なので、 一応何か地震観測記録がとれているところ、PS 検層の結果の方は、ち よっと浅い部分は別の速度層を切っちゃってる。
00:25:16	PS 件数ですね、場所が悪かったのか、お車の建屋から離れているところ。 。
00:25:22	できる範囲の
00:25:25	神経があるところから-200までっていうちょっと限界で説明したんで すがちょっと違いますよね。
00:25:31	その範囲で説明します。
00:25:33	以上ですっていうと、最後なんか、
00:25:36	妥当性確認っていうところも、マイナス200メートルから解放基盤まで はこうでしたっていう、
00:25:42	ただその説明だけが最後出てくる。
00:25:45	ね。
00:25:45	最後、結論で36ページにいくと、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:25:52	かくかくしかじか適用できることを確認しますという確認しましたってなっていて、
00:25:57	地震計のある範囲は一旦周期で OK
00:26:00	してました。
00:26:02	PS 件数のところは、これマイナス 218.5。
00:26:06	からマイナス 100 の範囲についてはこうでした。
00:26:09	なおこうでした。
00:26:12	最後、この、この 6 にある一番最後のポツで EL-18.5 から EL-200 メートルの範囲では、
00:26:22	こういうことから評価のモデルに影響はない。
00:26:26	ていうふうに、ここで終わってしまっていて、
00:26:30	あれも一応、許可の地下構造モデルそのまま使いますという、一応今回地震基盤から解放基盤まで、
00:26:38	ていうところは
00:26:40	どの範囲どこに入力してどこから出てくるアウトプットを使うか。
00:26:45	地震基盤からです。
00:26:48	この辺りが全然説明がスルッと抜けているので、
00:26:53	既許可の地下構造モデルを使いますといったときに、
00:26:57	じゃあ、
00:26:58	何の説明をしなきゃいけないくてそこは新しいデータを使って説明しなきゃいけないものと、いやそもそもこうだからというものが、線引きをしてですね論理を組み立てていただきたいというのがまず第 1、
00:27:11	です。
00:27:15	その辺は大丈夫そうですか。
00:27:18	九州電力の本村でございます。先ほどの限界の議論もありまして、そういうのも踏まえましてですね今 EL-200 メーターより以前の話だけになってるところがありますのでそこら辺ちょっと整理をしたいと思いますが、
00:27:33	仙台の方も、深いところの設定、地震基盤相当面より浅いところにつきましては、基本的基本的にといいますか微動アレイで当社が測った観測記録を使ってやってるところもありますので、
00:27:46	微動アレイを使ったからといって長周期ぜ、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:27:49	長周期だけというわけではございませんのでそこら辺はちょっと、今回記載してませんのでそこら辺整理の上ちょっと記載を充実させたいと思ってるところです。
00:28:07	はい。規制庁鈴木ですなので玄海と川内で、地震基盤の深さとか、
00:28:13	かつ、
00:28:14	今回ですよね評価モデルに戻すと多分 EL-200 という、
00:28:20	そうはないですよ。
00:28:23	実際は、-28.5 から 480 まで一応一つの層になってくるので、
00:28:30	許可のときに、今で言うところの地震基盤から浅いところはどういう根拠で設定していてそれって今回何か、
00:28:38	変わり得るものがあるんですか、何か短周期側に適用するにあたって、
00:28:42	そもそも論としてどうなの。
00:28:45	その辺り含めて、論理構築をしていただきたいかなと思います。
00:28:52	はい。
00:28:52	そうすると、その上ですね、いや、今回新しいデータもあるので、それを基にもう少し
00:28:59	精緻な検討を、
00:29:02	したものがこれで負話の数字としては、
00:29:05	それで今、例えばあれですかね 10、5 ページとかから、
00:29:11	この概要ですけど、
00:29:13	流れとして説明していくものが何が必要でこれで何をやんなきゃいけないのかっていうのは、
00:29:18	御社なりに出てくると。
00:29:22	はい。
00:29:29	ですね、
00:29:31	もう
00:29:32	地震観測記録との比較。
00:29:37	これについては、
00:29:39	18 からかな地震が地震データとれました。
00:29:43	ボーリング孔を掘りました。
00:29:45	で、それぞれで、
00:29:48	比較をしていきましょうって話が、
00:29:51	続いてくわけですけども、もう、
00:29:57	22 ページのところこれは、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:30:01	一通り確認をして、
00:30:05	前回の鉛直の方で言うところの、
00:30:09	ちょっと一部なしを鍛えていうところで大分数はもう大分減りましたが、もともと申請時の地下構造モデルだと、なんかもうほとんど2020地震のうちほとんどだったものが、
00:30:19	ごくごく一部の方向とか一部の周期でっていうのは、微妙に残りますけれども、
00:30:27	あそこは、
00:30:28	今回見直す、許可に戻しますという説明の中で、
00:30:33	ほぼほぼ改善されてるっていう話で、
00:30:36	そうすると33ページからは、PS検層もですねこれが、これまで聞いていた説明でのなんか使い方もちょっと違う。
00:30:46	いうことで、
00:30:48	これが、
00:30:50	33ページと、
00:30:53	もうPS検層の結果元2-118.5から-200メートルまでの範囲。
00:31:01	これで設定します。
00:31:04	いうことで、
00:31:05	心が、
00:31:07	参考の説明だと8485人トーンで、
00:31:16	はい。
00:31:19	で、なぜこの
00:31:22	範囲にしたのかっていうと、
00:31:25	マイナスを入れてコントラストがありました。はい。
00:31:31	これを
00:31:32	また全然違うページに飛んでいくと、
00:31:36	さあん、また前のページに戻るんですかね、7370を使う。
00:31:41	で、④、
00:31:44	⑤速度層の手前の③とか④を切ってしまうんですけど、
00:31:51	ありていに言うところ0去年の12月からこのPS検層モデルで、申請時のモデルの
00:31:57	-200から浅いところですね、まずは地震観測記録がとれてる中でQ1を12.5、これがいいんじゃないかとした上で、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:32:08	範囲も含めてマイナス 200 から解放基盤までのところで、何か PS 検層モデルを使って妥当性説明しようということで話をずっと聞いてきたんですけど、
00:32:18	そういう言い方すると今この 85 とかこの辺の説明を聞かされると、
00:32:23	そもそももう掘った場所があまりよくなくて、
00:32:26	いやあの説明をずっと聞かされていても、結局こういう、
00:32:31	何か別の速度層を切ってしまうようなもの D 値を受けて、
00:32:35	なんていうか延々と話が煮詰まっていかなかったんじゃないかなと思うんですけども過ぎたことを、
00:32:42	これ以上言ってもしょうがないんですけど、はそういうことは、
00:32:45	沿った場所があまりよくなくて、ここで多分説明できるのは、
00:32:51	できたとしても地震計より深いところから -200 まで、
00:32:56	使える範囲としてですよこの伝達関数なり、応答。
00:33:00	ない比較する。
00:33:02	そこはそういうことなんですかね。
00:33:04	あんまり過ぎたことをこれ以上、
00:33:07	何だったんだというつもりはないんですけども、
00:33:09	はい。九州電力の本村でございます。もともと L-200 メーターから解放基盤の PS 検層データを使ってというお話でしたけども、改めてちょっと位置とかを見てみると、-60 メーターぐらいに、
00:33:25	コントラストがあるということはわかっておりましたけどもそれをちょっと速度層断面とか、改めて見てみると、やはりちょっとやわらかい層、③とか④速度層が乗ってるところ、
00:33:39	ポーリングで見てたというところでそういうところもありまして、今回、先ほどご説明しましたけども、
00:33:52	原子炉建屋直下と、地震計があるところを眺めてみると、⑤速度層にあるので、PS 検層データを使って伝達関数によって適用性を確認する上では、同じような⑤速度層、
00:34:06	というところで今回マイナスに含めたからマイナス 10 は 118.5 までの
00:34:13	区間を、適用性確認に用いるということにさせていただきます。
00:34:24	はい。
00:34:25	ですすね、この PS 検層モデルとって比較するといっても、
00:34:33	そう 1 個分なの 34 ページのところ、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:34:40	既許可モデル、これはそもそも-200のところ何か層境界があるわけではなくって、一緒なので、そのままですと。
00:34:50	直線にしかならないですよ。
00:34:52	PS 検層モデルの三本については、
00:34:58	Q 値だけが変わりますということなんですけど、
00:35:03	これ、
00:35:06	-200 のところで聞いていて確かにもともとのやつもマイナス 200 メートルから、もうちょっと、210 メートル 20 メートルぐらいまでは、
00:35:16	であるので、そこで変わってないというのは、それはそれでわかる何となくわかるんですけど、
00:35:22	玄海の方は、尾藤もう少しというか、
00:35:26	もっと深いところまでは 1 キロぐらいでしたっけ。そう。
00:35:31	そその話があった上で、ここに、
00:35:36	これはこれとして、
00:35:37	良いですよ。
00:35:40	いう説明もありつつ、さらに言えば多分これ仙台の方で、
00:35:47	ボーリング掘って旧エスワン 1930 っていうと、
00:35:51	確かにそれ以降、地下構造モデル使うとすると、何故か 1930-200 メートルより深いところでこれ 1600 なっちゃうんですかね。
00:36:02	そういうこともあって引いているのか。
00:36:04	何かちょっと-200 よりももっと深いところまで変わりませんよというのは、
00:36:10	何かしっくりと、委員会のようにですね、数名が、
00:36:14	やっぱり、委員会の説明が少し足りてないかなと思うわれるんですけど。
00:36:19	この辺りは何ですかさっきは何か微動アレイでやってきたので、この辺りに何かこの速度、
00:36:26	構造がないっていうのを、
00:36:29	言えているのか、ちょっとそれは何で、
00:36:33	ここにコントラストはないんですっていう。
00:36:36	その前提に立てるのかを、
00:36:38	はい。教えてもらっていいですか。
00:36:42	なんかあんまりこう、この 34、35 とこ見せられて、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:36:46	何もコントラストがないんだから、小野瀬見せられても一緒だよな、一緒っていうかこういう結果になるだろうなっていうのがあるんですけど。
00:36:55	九州電力野村です。ちょっと 81 ページを見ていただきたいんですけども、
00:37:06	ええともともと仙台の方につきましては地震基盤相当面の辺りまで微動アレイの観測記録に基づく地盤同定結果を地下構造モデルの値として採用しております、
00:37:20	微動アレイの微動アレイ結果に基づく同定結果によると、-200メートル以深についても、大体 1600 ぐらいの速度層がずっと下まで続いているような、
00:37:35	ここがまず一つ根拠とあって、それで同定した結果を使うと結果的に位相分散曲線も合ってくるというところで、その下の方まで大体、
00:37:47	AVS は変わらないんじゃないかというところの根拠とはしております。
00:37:56	ただちょっと記載のほうを記載するのをどちらがいいかっていうところはちょっとありまして、
00:38:04	資料の方には、マイナス 200 メートルまでは少なくとも、コントラストがないというところでそういった記載をして、実際この比較するものとしては、下の 2 から上の 2 まで上げるようなことをしておりますので、
00:38:19	マイナス 200 の速度層としては、そのままつなげるというのが、当間やり方として、
00:38:26	妥当なのかなというふうに考えております。
00:38:41	はい。なので、
00:38:43	ちょっと
00:38:45	いきなりですね
00:38:49	200 で多く、そっかへの戻るか 34 ページで言うと、
00:38:55	舗装が分、EL-200 メートル以深まで⑤速度層が分布していることから、
00:39:02	そこ訳で大きく速度構造は考えられないと考えられるためって言われると、
00:39:07	いや、もうほとんどその 200 メートルまでのものしかないじゃないですかみたいなので、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:39:13	大きく速度構造が変わらないと考えられるため、それは何をもとに行ってますかというところは、
00:39:18	コア、玄海、川内で何か説明が欲しいさがあるので、川内はどうなんですかといったときに、今おっしゃったようなことですかね。根拠という。
00:39:28	ことでおっしゃってるんだったら、
00:39:30	それはちゃんと書いてくださいという。
00:39:55	はい。
00:39:56	その上で、
00:40:00	これもですねさっき限界のところでも言ったんですけど、
00:40:04	仙台の方と真木評価モデルを使いますという話なので、説明としてはそんなに長くはならないんですけど、
00:40:11	というと本編が 37 ページまで 37 枚までですよ。
00:40:15	後ろに補足と参考がまたついていて、補足と参考の違いは何だっというのももちろんあるんですけど、
00:40:24	ちょっとこれは一通りですねめぐりながら、
00:40:28	この補足とかこの参考 1 とか、この参考 3 は本編のどこから参考に使われてるんだみたいなを見ていくとですね。
00:40:36	まず、補足 1 の何かボーリング孔内減衰測定結果。
00:40:42	38 ページからですよ。
00:40:44	これほとんど本編に私が発見できなかっただけだったら申し訳ないんですけど、
00:40:49	本編に何か補足 1 何ページから見てくださいって、
00:40:53	本編が飛んでないんですよ。
00:40:55	補足の 2 かな、補足の 2 は、多分本編の 36 ページから飛んできて、一応使われていると。
00:41:06	参考 1 と参考には、どちらが初めに出てくるかっていうのは微妙な違いはあれ一応これは、
00:41:16	冒頭の 10 ページなり 11 ページなりで使われて以降でも出てくると。
00:41:22	いうことだし、3、
00:41:26	参考 2 の方は、
00:41:28	参考 4 の方からですかね、なんか引用されたりも。
00:41:33	をしていると。
00:41:34	Japan 興産は何ですかという、これも何か本編のどこから、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:41:40	使われてるのかっていうと、これなんか何も無いまま参考3、76ページからがあって、
00:41:48	評価の地下構造モデルですね。
00:41:52	参考4は初めてどこで出てくるかっていうと33ページで、信用されてすと、
00:41:59	参考5が、
00:42:02	ボーリング孔内Q値って、
00:42:06	当然これ本編から飛んでなくて、なぜか唐突に最後ついてるっていうのもあって、
00:42:11	ちょっとやっぱり、の事で、少しその許可の地下構造モデル、これまでの検討経緯を説明する上で使う、多分参考なり補足なりの資料と、
00:42:22	許可の地下構造モデルを使いますといったときに、何を説明しなきゃいけないのか。
00:42:27	そういう時に使ってるものと、
00:42:29	使ってないものと、もしかしたら必要なんだけど、本編のどこで使う可能なんかリンクが貼ってないだけで実は必要な参考資料なのかもしれないし、
00:42:39	ちょっとそこがですね、資料のつくりとしては、アマアマなので、
00:42:43	ここはしっかりとし尽くしてください。
00:43:04	よろしいですかそれ。
00:43:06	それから本村です。前回の方でもありましたけども、参考頭側のところですね、ちょっと整理させてもらって、本本文からの運用とかも、ちゃんと努めたいと思います。
00:43:22	はい。7の入口の整理をしてもらわないとどうしようもならないのですが、
00:43:29	とはいえですね。
00:43:31	一応、
00:43:35	ですから前回と同じようにそもそも清川の地下構造モデル使って、
00:43:42	万ちよっとなぜ、
00:43:43	限界と違って、今回仙台のやつはマイナス118.5 マイナス200だところで、何もそうして和久里られてないんですけど、
00:43:54	あとは言いつつ、一応-200から浅いところは何らかのそのデータを、
00:43:59	説明してるっていうことで、
00:44:03	まずは全体として、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:44:06	少し
00:44:08	地震観測記録なんか使って短周期は少し精緻な検討もしましたっていうことなんですけど、
00:44:14	まず全体としては許可の地下構造であって、使うにあたって、
00:44:19	使え、これをじゃあ標準をとってという評価、地震基盤から開封機能への、
00:44:26	コンマ 02 から周期 5 秒まで、
00:44:28	地震動評価に使うというにあたって、
00:44:31	そこは、
00:44:33	まずどういう考えで使える使えない。
00:44:36	これ、次の資料出てきてから初めて聞きます。
00:44:39	あと、それなりにまた資料出てくるまで時間かかるので、その辺はどんなお考えなんですか。
00:44:49	玄海のところでもちょっと聞いてはいますけどね、委員会としては、
00:44:54	九州電力の本村でございます。もともとの気色モデルに戻すということなんですけども、評価モデルは長周期なので、長周期用ですので、それを短周期体に使えるかっていう観点だと思います。
00:45:09	EL-200 メーターにもともとの許可モデルの
00:45:15	区切りっていうのは、ございませんけども、2 百名耐専で、地震観測記録が増えてるところとあと追加のボーリング調査やってますので、
00:45:25	そこら辺の話は EL-200 メーター、江井線については、
00:45:30	それらの観測事実に基づいて設定するということ。それと EL-200 メーターから、地震基盤相当面のところ、1 キロのところについては、
00:45:40	もともと先ほど申しました通り、微動アレイで使ってるところがございますので設定してるところもありますので、そこら辺の話で、微動アレイについては、
00:45:53	長周期限定というわけでもございませんので、そこら辺の
00:45:58	長周期から短周期までの適用性について整理しようというふうに現時点ではちょっと考えているところでございます。
00:46:08	ちょっとお待ちください。
00:46:11	はい九州電力なんかしてございます。川内の場合はもうまるっとを聞く巨艦モデル数を用いますので、まずはもう入口として、
00:46:22	もともと退職まで使うにあたって、これもともとのモデルが長周期専用だったかというところではなくって、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:46:32	浅いところはもう微動アレイで設定してますし深いところで引っ張ってる知見も含めて何らの徴収式しか使えないというものではありませんでしたのでもうこのモデル自体、
00:46:42	短周期まで使えるものだというのが入口になると思います。その上で、200より浅いところについては我々のデータをとっておりますのでさらにそこでちょっと確認を、
00:46:55	やっておりますと、というのが大きな流れになるかなと思います。で、
00:47:02	観測記録での確認さらにPS検層のデータでの確認、限界とちょっと減るのを意識し過ぎたところもありますけども持つてデータをとったデータを用いてさらに、
00:47:16	確認をしてると。
00:47:19	位置付けようは、玄海の場合は200より浅いところは既許可モデルから変えてますので、書いてるところについてはとったデータでちゃんと確認してますと、いう流れかと思えますけども川内の場合は、ちょっと違いましても入口としても0と。
00:47:33	使えるんですという入口があって、さらにこういう確認をしますと、いう流れに川内はなろうなろうかと考えております。以上でございます。
00:47:47	わかりました。なんで、一応観測記録とかも使い都築家試験装置が五つなんですけど、
00:47:55	もともとは、いや、そのままでも使えるんですっていう説明がまず冒頭に入るわけですね。
00:48:06	で、
00:48:07	上ですけど、あとは、
00:48:10	それがあるのかもしれないのですがあれですか。玄海の方でやっていた。ちなみに参考ですけど、
00:48:20	大友澤はうまい関係ないってことになるんですか。
00:48:25	なお書きですかのかもしれない。
00:48:38	なんで必ず必要なものと、あとは、とは言いつつ、いや、せっかくデータが取れているのでという、
00:48:44	ものとかあるんだとすると、
00:48:47	九州電力の本村でございます。仙台についても玄海同様、ブロックインバージョンのともさ他の妥当性確認が必ず必要かというわけではないと思います。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:48:59	はい。一応計算自体はやってますので、説明性、ちょっと社内でも議論したいと思いますけど、
00:49:09	説明性向上にはどうなるかなと妥当性が損なわれないことを確認するってことはいえるのかなというふうには思っています。
00:49:24	はい。
00:49:26	ます。
00:49:28	ちょっと待ってくださいね。
00:49:31	なんでちょっとその辺りも含めて、全体の論理と、必要なものは何で、
00:49:36	これは、さらに何をせ、こういう説明も、
00:49:41	付加できますみたいなものを整理して、
00:49:43	浅井。
00:49:45	万一、
00:49:51	その位置付けは整理していただくとして、
00:49:55	少しこのなんか PS 検層結果観測記録の比較とか、ちょっとこういうところで、すみません一体何かある方いれば、
00:50:20	社長の名倉です。
00:50:22	私実質的な内容の話じゃないんですけどちょっと、
00:50:27	言っておきたいのは 9 ページ。
00:50:30	指摘としてはですね。
00:50:32	2月10日と4月28日それぞれ小説で、4月28日これ指摘はしてないんですけどこの二つ目は、
00:50:41	これを書く必要があるんですか。
00:50:45	確かに議論はしました。議論をしたことは議論したとして書いてもいいですけど指摘ではないですね。
00:50:52	これを指摘として書いてるっていうことは言われたからやりましたっていう趣旨が出ちゃうんですけど。
00:50:59	そういう趣旨が出てもよろしいんですか。
00:51:04	言われたから、これ書いてあるんですか。
00:51:07	ここら辺がちょっとよくわからないというか、
00:51:10	これをあえてここに書くってことは、対応を考えてるかって言われたんだ考えました。
00:51:16	やっぱりそうしました。
00:51:18	これそういうふうに読めてしまうので、
00:51:20	九州電力としてそういう姿勢でよろしいんですか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:51:30	はい。九州電力の赤瀬でございます。遠いねまず我々の姿勢として言われたからやりましたというものではございませんそれをちょっと申し上げさせていただきます。
00:51:41	確かにこれちょっと指摘ではなくって議論の中であった話ですので、指摘という書き方は確かによろしくなかったかなと思いますが、これ
00:51:54	何、何と申し上げたらいいのかな。
00:51:58	我々としては2月の会合の後に、使用会議がありまして弊社社長の方から、モデルを見直す方向で検討しておりますと。
00:52:11	いうことをお話申し上げておりました。その後ちょうどこの4月28日のまさにこのご議論の中この一つ一つ目ですね、単純にその見直しますというだけではなくって、
00:52:26	る論理構成でありましたりその観測事実が再現できると整理せい加えて、何よりも、スケジ道路に通りに休まなかったらどうなのかと、やっぱり時間的、
00:52:39	なことも考えなきゃいけないようは、当社の今回の判断の中でも、見直す方向でいくとするとやっぱり妥当性の説明当社から説明申し上げるにその根拠づけするのに、
00:52:51	やっぱりこれは時間がかかるという、という判断をしたというところがありまして、
00:52:56	そのポイントとなるところがこの4月28日のやっぱり議論であったよなど。
00:53:01	ということで、当社の議論んまでも結果できる高角当行言われたからそういう議論を社内でしたということにもなりかねません。すいませんちょっと私しゃべりながら、
00:53:13	何が言いたいのかちょっと、
00:53:15	ぼやけてきてしまいましたけども、
00:53:17	規制庁の名倉です。
00:53:20	純粋に受けとめていただければいいのは、
00:53:23	これは指摘ではないと。
00:53:25	やっぱりそこで議論がなされたことが、
00:53:29	きっかけになったのかそれともより強く、九州電力として問題意識を持つようになったのかというところのきっかけには多分なってると思うので、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:53:40	そこはそのように書けばよろしいんじゃないかなど。例えば、指摘のところに書くというよりも、
00:53:49	後、会合での指摘及び議論した内容を議論された内容とかっていうふうに書いて、
00:53:56	こういうことも議論されましたよ。
00:53:59	ということを書いた上で、そういったことも踏まえて、
00:54:04	KYCOM コメントから回答方針の、例えば二つ目の四角書きの以上を踏まえてところ、
00:54:10	こういったところに関連性を少し入れるとか、
00:54:13	そういった形で、事実関係に正確に書いた方がよろしいんじゃないかと。
00:54:20	今のままでいくと、議論がなされたというよりも指摘を受けて、
00:54:25	問題意識を持って、それでやることにしましたっていうふうはどうもちよっと見えてしまうので、
00:54:32	おそらく 1400、1142 回の 4 月 28 日の会合で、九州電力が確か答えたのは、
00:54:42	進まなかった場合のことも当然自分たちで考えているんですと。
00:54:48	という話をしたので、言われて考え始めたのではなくてすでに九州電力としても考えてますという前提で、議論がなされたというふうに私自身は認識しているので、
00:54:58	そこら辺、何ていうか誤解がないように誤解されないように、
00:55:03	資料の中で説明すべきではないかということで今発言をしてますので、必要に応じて対応よろしく申し上げます以上です。
00:55:11	はい九州電力の赤瀬でございます承知いたしましたここのちょっと指摘というところの書きぶりとか書きぶりとか書きぶり、東村中野等も含めてちょっと
00:55:23	経営や事実にあわせてちゃんとご説明できるように修正をさせていただきます。以上でございます。
00:55:32	はい。規制庁都築です付け加えた会議終わった後の 5 月 8 日ですかね、ラップアップのときにもやっぱり書いてあるのは、一つ目のポツだけですよね。
00:55:43	指摘として、我が社として指摘として受けとめたのはこれで、対応はこれでラップアップした時の資料、すみません、もう 1 回見直しましたけど、ホームページに、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:55:55	単なる事実ですけどはい。
00:56:00	社長の名倉です。あと1点。
00:56:02	私資料の中で、いろいろ構成。
00:56:06	が本当に事業者が考えていることを兵庫にしきれているのかっていう観点で見たときに必ずしもそうでもないのかなど。何かいろんな、いろんな周りの自治体とかも含めていろんなことを気にして、
00:56:18	説明が少しあっちこっちは回ってるかもしれないなという印象をちょっと受けたので、そこはこの目的は何なのか、その目的は達成されているのか。
00:56:31	ということ今回、既許可のモデルを使うということにしたところの経緯と、あとそれでいいんだということの妥当性の説明のためにどういう論理展開をすべきなのかっていうのを今一度考えていただいて、
00:56:46	中身を整理していただけたらなというふうにちょっと思ってそれは率直な感想です。で、それ以外にちょっと111点違和感を感じたのは43ページ、これは、
00:57:00	85ページも関連しますが、私自身がちょっと施設側のこともやっていた人間として、違和感を感じたのは43ページの
00:57:11	L-118.5メーターの最深部地震計の位置から、
00:57:17	EL-200メーターまで、PS検層モデルの三つのモデルを用いて、
00:57:24	デコンボリューション立ち上げをしてる。
00:57:26	ここの地盤モデルを使って立ち下げをするっていうことが、私自身ちょっとあんまり、
00:57:35	見たことがない。
00:57:37	本来これをやるものとしては、伝達関数の差分をちゃんと示すのであれば、平均的なモデルで下げた上で一斉に上に上げるとか、
00:57:48	そうすることによってイーブンの条件で、見れるのかなど、デコンボリューション立ち上げてばらつきを考慮してるみたいな。だからこれは、ある意味旧エスワンからIIIというある。
00:58:01	ケースでの事例を表してるだけであって、
00:58:05	そういう意味で、このどれかで上回っているもしくは全部では回っているっていうことは、これは必要量子論的じゃないんだけど、
00:58:15	ある可能性として言って説明してるだけ。
00:58:20	になっちゃうので、そういう意味では、立ち上げでばらつきを考慮するのが本来の

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:58:26	考え方ではあるんだけど別にばらつきで示せということはいけませんので、
00:58:30	ちょっとこの立ち下げで、
00:58:33	多様性を示すことに関してはちょっと違和感があるなど。もしあるんだったら、PS 検層モデルについて、平均的な物性で落とした上で、
00:58:44	それぞれで立ち上げるとどうなるのか。
00:58:47	もしくは菊川モデルで立ち上げたときにどうなるのかって比較をちゃんとすべきなのかなその場合、
00:58:54	比較の対象は、EL-118.5 メーターから ES-200 メーター。
00:59:01	という示し方もあるんだけど、
00:59:04	言ってることも理解できるんだけど、上の解放基盤表面まで、
00:59:09	Qs 岩級 SQS でもモデル立ち上げた場合と、あと菊川まで立ち上げた場合、
00:59:15	二分 2 解放基盤表面まで EL-200 メーターから、
00:59:20	浅部も含めて、保守性、評価モデルの保守性がどう現れるのかとか、
00:59:27	そういうことを示した方が私は実直なのかな。
00:59:31	思います。
00:59:33	私の感覚的にはそれが一番何かすごくフェアなやり方なんじゃないかなっていう気はちょっとします。今のやり方がアンフェアと言ってるわけじゃないけど、逃げてるような感じがします。
00:59:45	そこら辺ちょっと説明の仕方を少し、
00:59:47	考えていただいた方がより納得しやすい。
00:59:52	資料になるのかなというふうにちょっと思いました。以上です。
00:59:56	はい九州電力の明石でございますまず前段ご指摘いただいた、その目的は何かあってそれが達成されてるかということのをそれに向けた論理構成等々、
01:00:06	かなりやっぱりちょっと飛び飛びであったり強調してるところと、そうでもないところと、大分資料としては宮の読みづらいところもあるかもしれませんのでそこちょっと今一度刀禰直します。
01:00:19	今ちょっと違和感があるというお話があったところにつきまして、ここおっしゃる通りのやり方が素直かなとは思いますが、
01:00:29	これ PS 検層モデル一本一本そのものにしてちょっと平均的なモデルを PS 検層モデルから構築するにしても、これちょっとどこだったかの別保別ページで言ってます通り、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:00:41	PS 検層を掘ってるところはいずれも地震計位置或いは炉心直下と、速度層がちょっと違うところを取ってますので、解放基盤までフルにやると、ちょっとこれ違うものを比較することになっちゃうので、
01:00:55	困って困ったなっておかしいですけども比べられるものを比べたいものをちゃんとこれら比べられるようにということで、
01:01:02	118 から明日ということで切っちゃってやっているとところが一つございます。それと、これ
01:01:13	43 ページからさっきこのオートスペクトルで示してるのはなぜかといいますと、そもそもこんな応答スペクトル上げ下げして書くんじゃなくて伝達関数で見たらどうかというのはこれ実は、
01:01:24	前の方の 35 ページ 2 に示しております、我々の趣旨といたしましては、118. 五味宇都レールの浅いところ、
01:01:36	で見ると、観測事実をモデルでほぼカバーできてる。ただ、三つ四つの観測記録でちょこっと飛び出てるやつもあるんだけど、そこは、
01:01:46	118.5 から 200 の保守性で見ればカバーできるよね。
01:01:50	と思って主カバーできるよねと。
01:01:56	8.5 から 2200 メーター。
01:01:58	ここが実態の地盤としてはこの PS 検層なんかでもわかってる通り、減衰はかなりここおっきいんですけども我々のモデルは、もう企画モデルで Q 値 100、
01:02:10	で取ってますので、もうその差分でも十分そびよこっと飛び出てるのを埋められるだろうと。
01:02:16	ということでそれが確認したいと。で、この
01:02:21	35 ページのこの伝達関数をもって、この 118.5 から 200 のこれぐらいの伝達関数の差分があれば、当然カバーできますよねと言いたいところなんですけども、
01:02:32	観測記録飛田やっぱり照らし合わせた見た目というとおかしいですけど、それがないとわかりにくいかなということで、
01:02:40	はい。
01:02:41	尾野名倉です。私がこれについて気になっているのは、
01:02:46	当然、EL-118.5 メーターから -200 メーターまで下げる。
01:02:52	ということに関しては、
01:02:54	35 ページの伝達関数、
01:02:57	結局割り込むと、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:03:00	割り込むということをしてすべてイーブンで四つ、
01:03:05	旧エスワンからそれと許可モデルについて、
01:03:08	実は入力を全部割り込んで下まで持って行って、それを評価モデルで立ち上げる。
01:03:15	という行為をしていることにほかならないので、L-200 メーターいえる 118.5 メーターの間のデコンボリューションと。
01:03:25	そっからの立ち上げ、
01:03:27	ていうのはまさしく 35 ページの伝達関数を表して、
01:03:32	それは理解してるんだけど、
01:03:35	そっからさらに Qs ワンツースリーってというのは、
01:03:38	入力をマイナス 10118.5 メーターから、
01:03:44	上に機構モデル立ち上げますよね。
01:03:48	そうすると見え方変わるんですよ。
01:03:52	増幅するから、
01:03:55	だからその分の上乗せが結構効くんですよ。
01:03:58	単位ごと短周期よりも中間、0.1 秒から 0.2 秒 0.3 秒ってというのは、
01:04:04	実は、伝達関数からいったらそんなに、
01:04:07	割戻してもあんまり影響はなくて、むしろ、118. -118.5 メーターから解放基盤表面までの
01:04:16	既許可モデルの保守性。
01:04:18	それが効いてくるんです。
01:04:21	そこんところそれやってしまうと、何か私これ、
01:04:25	モデルで勝負、PS 検層のモデルとは違うもので結局マイナス 118.5 から、
01:04:31	マイナス 18.5 まで立ち上げて、その増幅率、
01:04:36	評価モデルの増幅率が、
01:04:39	結局、確かに保守的ではあるんだけど、それは Qs ワンツースリーのモデルとは違うものですよ。
01:04:48	だからそういう意味でフェアじゃないんじゃないのって基本来期 F ワンツースリーってというのは、ここにソフトギャップがあるから、何らかのピークが出ちゃうはずなんですよ。
01:04:58	旧エスワン通水のモデル本来使えば、
01:05:02	だからそこがちょっと何か私引っかかる。
01:05:05	Qs ワンツースリーを既許可モデルで立ち上げてしまうことに関して、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:05:12	そこが事実は異なっていて、そこんところは既許可モデルの保守性だけが、
01:05:18	出てしまう。
01:05:20	そういう見せ方で、確かにあるかもしれないけど一つの可能性であって、それをもってカバーできてますよねって説明にこれ、すごく、多分気にしてることは私たちは一緒に、
01:05:32	新居さん。
01:05:34	1026 の観測記録のはめるところが確かにほとんど埋まってしまう。
01:05:40	でもそれって、
01:05:41	こうやってるからそうなってるんだよね。
01:05:46	ていうふうに私はちょっとと思って、ちょっとこの示し方については、
01:05:51	少しちょっと違和感があります。
01:05:55	私が気にしてることはちょっとすべてお話してるんですけどね。
01:06:01	うん。ということです。
01:06:03	以上です。
01:06:06	はい。九州電力の明石でございます名倉さんおっしゃる通り、118.5 からさらに上に上げると、その分の保守性が小野瀬されてしまうってそれはおっしゃる通り、Sで、
01:06:16	そこまで118点、118.5から18.5まで上げたのは、なぜかといいますと、
01:06:23	例えば50ページ、表をご覧くださいと、②飯野鹿児島県北西部地震について、この2段目にあります。
01:06:33	既許可モデルのNS方向を見ますと、ハッチングしてるところをコンマ1の周期体で、若干足らないと、要は90、118.5より上で見ると、
01:06:45	これぐらいの差分があると。
01:06:47	これに、118.5より下のモデルの保守性が上乘せされると、どういう姿になるだろうと仮に、
01:06:57	200ミリ-200メートルで地震観測記録が取れてたと。
01:07:02	すると、地震観測記録とモデルとの勝負をするとどうなるだろうというのが、見てみたかったということで、118。
01:07:12	Dも含めて計算をしてみると。
01:07:16	いうものでございますそれが、おっしゃる通り、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:07:20	についてフェアというか、きちりした計算かといういろいろな条件がまざってますので、必ずしも正解ではないのかもしれないんですけども、
01:07:32	この 50 ページで見られるような浅いところに対してより 118 森下の保守性がオンされると。
01:07:39	どんな姿になるだろうというのが見れるようにしたかったというのが、この 4045 ページ等の
01:07:46	示し方意味合い。
01:07:50	規制庁の名倉です。
01:07:56	結論づけることに対して私は違和感を持っています。43 ページのその結果っていう最後のポツ。
01:08:03	同等もしくは上回ることからこの結果から、影響ないことを確認した。
01:08:09	これ一つの可能性を、
01:08:11	示しただけであって、それ以外の可能性も、こういうことをやるのであれば無限にあり得る。
01:08:18	調査をすればするほど、PS 検層のモデルは多様性を増す。
01:08:23	それに対して、いろんな可能性が出てくるのであって、ここで示してるのは、
01:08:29	今、PS 検層モデルとして実施したもの、今回実施したものをを用いると。
01:08:36	こういう可能性が言ってますとだけであって、これが蓋然性を持つてるかどうかというに対しては、それは保証はできない。
01:08:45	そういう意味でちょっとあまりこういう中身を議論してはヒアリングとか事実確認だから、
01:08:50	あんまりよろしくないのかもしれないけれども、
01:08:53	私自身見た限りでは、この結果をもって何か判断をするとか、
01:08:59	そういうふうなことはやめた方がいい。
01:09:02	ではないかと、もしやるんだったらもうちょっとフェアなやり方、平均モデルである一律のモデルで立ち下げた上で、それを実際の有賀間の条件で立ち上げて、
01:09:14	比較をイーブンにする。
01:09:16	ていうことをやるのであれば、その結果がに対して判断というか考察を加えて判断をするのであればそれは私はあれだと思います。
01:09:26	すいませんそういう意味で、ちょっと私自身は、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:09:30	可能性、
01:09:32	その結果をもとに判断をするということに関しては、定性的に言ってしまえば、それに対しての県央間違和感があるということです。
01:09:44	はい九州電力の明石でございます奈良さんがご指摘されてたところ、ての趣旨、理解いたしました。
01:09:53	いや、やっぱりこれいろんな条件を挟んじゃってますので下のこれで行われてる結果自体が可能性の一つであるということはおっしゃる通りだと思います。
01:10:05	その上で根井我々としてねえたいというか、こうではないかという仮定のもと、進めている結果について、まさにどう判断できる、結果としてどう、
01:10:15	示すかということでもうちょっと、今一度ちょっとそこは検討した、させていただきたいと思います。以上でございます。
01:10:33	規制庁サービスですけど、ごめんなさいこのページが出たので、
01:10:39	単純に、
01:10:42	日本語だけの話かもしれないんですけど、
01:10:45	これはもう
01:10:47	教えていただきたいというか、
01:10:49	このページで、
01:10:53	一番上の四角の最後のポツのところでもそうですし、先ほど、
01:10:58	お話のあった最後、一番最後、一番下のポツもそうなんですけど、
01:11:04	比木許可モデルの適用性に影響がないっていうのは、
01:11:08	ちょっとどういうことをおっしゃってるのか、私はよくわからなくて、
01:11:12	主語がないだけなのかもしれないんですけど、
01:11:16	ちょっとここを教えてもらっていいですか。
01:11:25	はい。九州電力の本村でございます。もともとのきっかけといいますか、観測記録の応答スペクトルの確認でさっきありました通り、四つぐらい
01:11:38	0.1 秒から 0.2 秒の
01:11:40	周期体でカバーできていないというちょっと、事実がありまして、そうなってくると、評価のモデルの適用性というのは、どうなのかっていうところもありますので、
01:11:52	ただ、PS 検層モデルとの比較で-118.5 から 200 メーターのところにつきましては、かなり補正を有するというところがありましたので、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:12:03	その保守性も含めてですね。
01:12:06	マイナス 200 メーターから、このような検討をした結果、
01:12:11	応答派の方が、モデルを使ったオート評価モデルを使った当社の方が、観測を上回るというところを確認したので、
01:12:20	評価モデルのを適用するということについては、観測事実と照らし合わせて、影響がないといえますか、適用性に影響がないことを確認したというようなことで、記載させ、
01:12:35	ていただいてるんですけども。
01:12:40	はい、清調査役ですか。なんか何となく今わかったようなわからないようなんですけど結局、
01:12:51	0. 周期 0.1 秒から 0.2%を引いて、
01:12:57	既許可モデルによる応答は、というのは、
01:13:01	ちょっと観測記録を下回ってるんですけど、
01:13:05	そんなの関係ないよというふうにおっしゃってるようにも、
01:13:09	聞こえるんですよ。
01:13:11	ではなくて、
01:13:13	いや、もともとこれ保守性を有したモデルなので、そこはきちんとカバーできるんですと言ってるのか。
01:13:21	そこがやっぱりよくわからなくて、カバーできないんだけど、
01:13:26	影響が小さいんで、
01:13:29	いいんですということを、
01:13:32	おっしゃりたいのか、やっぱりこの起業者問題いろいろ適用性に影響はないという表現が、
01:13:39	何かちょっとしっくりこないというか私は、
01:13:42	あんまりこうピンとこないんですけど、
01:13:46	少なくとも、今私が言ったようなご趣旨趣旨のことを説明されたいと。
01:13:54	いう理解でよろしいんですかね。
01:14:00	九州電力の明石でございます。ちょっとこのページ、適用性に影響がないということについて、ちょっとこのページ以降でやってる検討がこのやり方でいいかどうかというのは先ほど議論ありましたけれどそれちょっと置いていて、
01:14:15	もうこの結果を前提に我々が考えたことは要は 90、118. 五味 5 メートルの浅範囲では、一部やっぱり観測記録が飛び出してるものがあったんでそれが、より深いところも、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:14:27	保守性まで含めて見てみると、ちょっとはみ出たれたものについてもほぼカバーできたと。
01:14:34	いうことは、これ、引き続きカバーできてなかったらやっぱりこれちょっとモデルなんか見直さなきゃいけないねっていうことになるんですけども、深いところまで見ればカバーできるのでじゃもうモデルを見直す必要はないよねと。
01:14:47	いうことで、モデルを見直すとかあのモデルがもう適用できやっぱ何がしかいじらないといけないということはないよねということで、影響はないというふうに確認、判断したと。
01:15:00	いう趣旨で書いております。
01:15:02	はい規制庁佐口です。今の明石さんの説明で、何となくぴんときたのは、結局これは以前、ご説明のあった浅いところだけはカバーできないんですけども、
01:15:13	トータルとして考えて深いところから、トータルとして考えれば、当然解放基盤面の地震動については、きちんとカバーできますと。
01:15:24	そういうことを再度おっしゃってるという理解でよろしいでしょうか。
01:15:30	九州電力の明石でございます羽鳥でございます。
01:16:02	ー規制庁昨日ちょっと引き続き、
01:16:05	ごめんなさい、またこれもちょっと言葉だけなのかもしれないんですけど、
01:16:10	同じような観点でもう1回ちょっと最初の方に戻って10ページですね。
01:16:15	で、
01:16:18	ちょっとこの見直しモデルっていうのが当然あって見直しモデルがどう、どうかっていうのはちょっとポイントを言ってなんですけど。
01:16:28	上から小さい丸のポツで三つ目のところも、
01:16:32	最初の文章の一番最後ですかね、評価モデルと同程度っていうのが、
01:16:38	これ12ページに飛んで、
01:16:40	12ページっていうのが、
01:16:44	同程度で書かれていて、それがさらに48ページから68ページ参照っていう。
01:16:53	ことなんですけれども、
01:16:57	速攻見なくても、結局これ11ページと12ページを見比べればおんなじ地震で、結局はモデルと、11ページが既許可モデル。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:17:07	で、12 ページの見直しモデルなんですけど、
01:17:11	これを、
01:17:12	同程度と。
01:17:13	11 ページの右下の、
01:17:17	この絵と、
01:17:18	12 ページの右下のこの絵が、
01:17:21	この赤線ですよね。これが同程度と。
01:17:24	いうことをおっしゃってるのかどうかっていうのをちょっと確認させてください。
01:17:34	九州電力野村です。今のご質問ですけれども、単純にこの今の出してる11 番の地震で比較しますと、確かにその短周期側であったりとかカバーのし具合差があると。
01:17:47	いので言葉に違和感があるんじゃないかというご趣旨だと理解したんですけれども、これどういう、どう藤堂程度って言うてるのがどういった意味かといいますと、20 地震のそれぞれの方向を見ていったときに、
01:18:01	若干大戸芳賀観測記録をカバーできてないものというのを、数えていくなりちょっとその全体として見たときに、
01:18:13	カバーしてないものっていうのの割合が大体同じぐらいというのをちょっと表現しているようなものになっております。
01:18:25	なのでトーマツこの図同士を比較しているわけではないといった趣旨になります。
01:18:32	はい。規制庁佐口ですが今のご説明で何となく言われていることはわかったんですけど、少なくともそれはこの文章からは読めないですよっていう。
01:18:45	どう、そういうことですか。いや、何か見直しモデルって、どう扱うかまあ、ちょっと多いといてなんですけど、あくまでも見直しモデルでやると。
01:18:57	改善はされるんですよ。
01:19:01	ただし、
01:19:05	既許可モデルとやっぱり同定っていうのがだからそういうことですね。わかりましたあいあい具合は、
01:19:12	多少は改善されるんだけどもあったり合わなかったりする部分については、既評価モデルと同じぐらいですよってそういう御説明っていうことですね。はい。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:19:23	九州電力の大村ですおっしゃる通りです。
01:19:35	はい。規制庁佐口です。で、引き続きなんですけど、ちなみになんですけどね、やっぱりこの、
01:19:43	10 ページから出されてる頃、
01:19:46	速度構造を見直したモデルっていうものの、
01:19:50	ちょっと取り扱いが、不明というかちょっとわかりづらくて、あくまでもこれって、
01:19:58	何か当然これまで審査会合で議論したのも何もなくて、多分、
01:20:04	一度ヒアリングに出て、今回2度目ぐらいかなっていうところで、後には御説明あるんですけど、
01:20:11	何かこれを、
01:20:14	何て言うんですかね、まだ言ってみれば、この見直しモデルというのは、御社の中で、フィックスされているのかどうかは別にして、
01:20:24	何かこれで見直してできそうだねとかそういうことを、
01:20:31	我々が何か言ったとか、認めているわけでも何でもないモデルで、
01:20:38	何て言うんすかね。
01:20:40	で、
01:20:41	この見直しモデルっていうのは、当然ながら後ろにあって、
01:20:47	49 ページ目以降ですか。
01:20:50	で、確かにこの辺の、
01:20:53	0.1 秒から 0.2 秒。
01:20:56	あたりは何か改善されてそうだというのは、
01:21:00	何となくそうかなと思いつつも、でも実はこれ観測記録だけで、もとの我々の問題意識にあった。
01:21:10	これいわゆる観測記録なの伝達関数って、
01:21:14	どうなってるんですか。
01:21:16	て、ちょっと見てみるとそういうものって一切なくて、
01:21:20	何か後ろの方に伝達岩相は、
01:21:23	当然、
01:21:25	なんだと思うんですけど、
01:21:27	これ、何か伝達関数がどうの。
01:21:31	みたいな確認はされてるんですか。
01:21:38	九州電力の野々村です。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:21:40	伝達関数についても確認はしておりまして今今回の資料ではお示しはしてないんですけども、12 ページの応答スペクトルにも見られますように、
01:21:56	一次ピークの位置が、現申請モデルだと、
01:22:04	大体周期で言いますと、0.33 ぐらいにあるやつが、伝達か速度を見直すことによって 0.25 から 0.26 ぐらいに来るような伝達関数になる。
01:22:18	見栄え自体はそこまで大きくは変わらないんですけども、要は 0.1 から 0.2 の部分を、ピークの裾野みたいところで、
01:22:29	かさ上げできるようなモデルになっているといったような形になっております。
01:22:38	はい。規制庁佐口です。それはだから観測記録と、
01:22:42	のはい具合は、その企業間モデル。
01:22:46	より、結局既許可モデルですよ。その Q 値が 12.5 か 100 かの違いなだけの話で、
01:22:53	より良くなっていると。
01:22:56	そういう理解でいいんですかね。
01:23:02	九州電力の野村ですそれも理解で問題ありません。
01:23:09	はい規制庁佐口そうするとですよ。ちょっと私気になったのが、
01:23:15	今日のヒアリングの方を最初の方で、
01:23:21	ちょっと明石さんが、
01:23:22	いや、仙台のモデルっていうのも、
01:23:25	もともと、
01:23:26	何かこう、今日周期だけに限らず、短周期も含めて、
01:23:32	何か適用できるモデルだった。
01:23:35	ていうような、
01:23:37	何か御説明というかご発言があったと思うんですけど。
01:23:41	あれそれで、
01:23:43	結局モデルってやっぱりその伝達関数とかを見てみた。
01:23:48	見ると、
01:23:50	短周期側ってあんまり良くないですよっていうもともと我々の収支コメントとかも含めて、
01:23:58	何かちょっと、
01:24:00	違うような気がしてですね。
01:24:03	見直しモデルをやることによって

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:24:11	伝達関数も良くなってきてるっていう話だと。
01:24:16	やっぱりその、
01:24:17	何ていうんですかね、モデルの精度としては、
01:24:21	あんまり曲モデルってよくなくて、
01:24:24	だけど、当然ながらそのモデルの精度等、何ていうんですかねモデルの方修正というのか、それはまた、
01:24:32	ある意味
01:24:36	トレードオフみたいな関係で、
01:24:39	モデルの精度がよければ、当然ながらその保守性はいらないかもしれないですし、
01:24:44	かえて俺の制度が悪ければそこは保守性でカバーしますよとかですね、なんかそういう関係。
01:24:52	別にモデルの精度が良くて補正があれば一番いいんですけど、
01:24:57	そういうところも含めてですね、ちょっと何か今の、少なくともこの見直しモデルっていう位置付けが、
01:25:05	当然初めて出てきているんですけども、それにもかかわらず、
01:25:12	現申請モデルと聞く今後で言うと見直しモデルっていうのが、
01:25:16	49 ページ組合以降で、
01:25:20	それぞれ並べて、
01:25:23	示されていて、
01:25:25	ちょっとだからそれが、
01:25:27	見直しモデルとの関係がこうだからどうだとか、そういう話って、
01:25:33	正直ちょっと位置付けがやっぱりよくわからなくて、
01:25:39	何かあれですかそれはそれはあくまでもこれまでの経緯を含めて一応見直しモデルみたいな検討はしていたんですけども、今日ご説明あった通りその妥当性を説明していくには当然ながら、
01:25:52	サラサラに時間が必要なので、検討は、途中は途中なんですけど、
01:25:59	だけどまあ、そうそういうことも含めて、一応示したいと。
01:26:04	そういう趣旨なんですけどちょっとこのやっぱり見直しモデルの位置付けがあまり私にはよくわからなくて、ちょっとこの位置付けを教えてください。
01:26:22	はい九州電力の赤瀬でございます。見直しモデルというのを今最後に沢木さんおっしゃった通り、我々速度構造を見直そうということで検討を進めたらこれで

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:26:36	完成版だと言って認めてくれという趣旨でここに載せてるわけではなくて、我々こういう方向だろうということで検討してましたと、で検討した結果として、
01:26:46	いわゆる観測記録のでこぼこや山谷の再編という意味では、かなり改善が図れたというモデルであるというふうには考えております。
01:26:57	そういう意味では、ちょっと、それに比べれば既許可モデルはそういうでこぼこの再現度合いとしてはこの見直しモデルに対しては劣るだろうというふうには思っております。
01:27:07	ただ、
01:27:09	まさに基準地震動を評価する、地下構造のモデルとして、要は、まさに過小評価を招く、招かない、まさに保守的な設計が可能になる。
01:27:22	地震動をつくることのできるモデルとしてどう採用するかという、いう観点に立ったときに、デコボコの再現の場合は見直しモデルという方向でいった方がどうやら、
01:27:35	精度は上がりそうなんですけども結局その設計の方、結局それもそのカバーの度合いについてはそんなに変わらないというところと、やっぱり保守性、
01:27:46	カバーの度合いって
01:27:48	既許可モデルはデコボコじゃなくっても、ガバッと保守性を持たせることによって、その山谷をすべてカバーするというような形になってますので、そういう意味でのカバー度合いは結局、
01:27:58	見直そう見直しモデルと企業モデルとそんなに変わらないということで、全体的な保守性を考えるとそれはもう企画モデルの方が圧倒的に保守性を持ってると。
01:28:09	ということで、結果その見直しモデルということで我々検討を重ねてきましたけども、もうそれで認めてくださいではなくても、既許可モデル2位、荷重を切るとかやっぱりこっちでいこうというふうに判断をしましたと。
01:28:23	いう、その辺の判断の過程をご説明するために、この見直しモデルというものを登場させております。
01:28:31	そういう意味で、これ見直しモデルをご議論いただきたい或いはその見直しモデルの制度をご議論いただきたいという趣旨ではなくて、あくまで我々が今検討をしてきた。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:28:42	経過として、いや判断に至る経過としてご説明をするために、ここで登場させてるというものでございます。その趣旨がいきなり見直しモデルはこうですという説明になってるのでちょっとそこが、
01:28:54	わかりにくいかなとは今更ながら思いますので、ちょっとそういう、
01:28:58	経緯をたどってる説明であるというところがよりわかるようにはちょっとしなければと考えております。以上でございます。
01:29:06	はい。規制庁、佐口です。私が先ほど 12 ページのこの文言から含めてですね、一連のご説明で、その経緯と、こういうことをご説明したいんだという、
01:29:18	趣旨は一応理解しましたので、なので、やっぱりそこはちゃんとわかるようにはしていただきたいと思っておりますのでよろしくお願いします。
01:29:45	あ、規制庁佐田です。すいません本当に細かいことついてでまたちょっと文言の話なんですけど、
01:29:51	ちょっと私やっぱり、
01:29:55	15 ページですかね、この文言がやっぱりしっくりこなくて、15 ページの 1 ポツ目の上から 2 行目の既許可モデルの短周期から長周期までの、
01:30:07	すべての注北井への適用性を確認ってされてるんですけど、
01:30:14	少なくとも今これ確認されているのは 110。
01:30:18	8.5 要はその観測記録があるところだけですよね。それより上、
01:30:23	若干
01:30:25	ボーリング、
01:30:27	とかは出てますけど、これって本当に、
01:30:31	レンジとしてですよ。
01:30:33	この深さで長周期まですべて乗って、
01:30:38	いえるのかなっていうのが、
01:30:41	短周期で、要はその深さに応じて、そこに対応する。
01:30:48	周期、
01:30:51	ていうのは、ならわかるんですけど、本当にこれ長周期、例えば、極端な話をすると、
01:30:59	周期数秒ですよ、2 秒 3 秒 4 秒とか、そんなところまで適用性でこの深さで確認できるのかなっていうことでちょっとそこの文言って本当に、
01:31:09	ここまでいえるのかどうかっていうのを確認させてください。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:31:18	はい。九州電力の本村でございます。深さに応じて周期とかっていうところはあるかと思えますけども、観測事実として、観測記録加えられますので、応答スペクトルという形。
01:31:31	0.02 秒から 5 秒までプロットしてありますが、その 0. 表情とスペクトル。
01:31:39	の周期ですね。こここのところで観測記録のそういう周期体ですね、そういうところを確認してございますし下の PS 検層モデル。
01:31:50	につきましても、0.02 秒から、今一応 10 秒まで見てありますが、そういうところを見て、
01:31:59	ここでいうと、短周期から長周期まで、同等もしくは上回るというところは、見て取れるかと思えますので、そういう観点ではちょっとこういうふうな記載をしていると。
01:32:11	ということなんですけども。
01:32:16	はい規制庁昨日
01:32:19	この観測事実を同等もしくは上回るという、この表現については別に私は特にいいと思っているんですけど、この適用性が、
01:32:30	特に長周期まで含めて適用性が確認って、
01:32:35	どうなのかなってあくまでも観測事実の再現性というのか、そういうことは当然確認はできましたっていうのわかるんですけど、適用性という
01:32:46	だってこの、
01:32:48	周期体ってそもそもこの深さで増幅も減衰も、
01:32:52	されないんだから、
01:32:54	そんなん確認できたっていえるんですかっていう。むしろ、本当はこれ増幅されるのに増幅されてないとか逆に、
01:33:01	ドークされてないの増幅されてるとか、そういう、
01:33:05	話になっ
01:33:06	て、観測記録も含めてですね、なれば、何か、
01:33:10	わからなくもないんですけど、そもそもこの周期た一定特徴周期ってこの、
01:33:16	深さって全く実は関係ないので、その適用性まで本当に言っちゃっているのかなっていう、そうそういう趣旨なんですけど。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:33:24	はい九州電力の明石でございます。ここはちょっと、玄海でのご指摘されるちょっとこの仙台の Hyalo ポート出るのご指摘あったところも含めて、そもそも企画モデルを使うにあたって、
01:33:37	もともと長式モデル、専用みたいな言い方をしたけどもこれそもそも田嶋でも使えと、モデル設定としてそうなんですよということを整理した上で、
01:33:47	ここここが観測記録なりデータがあるところについてさらに確認をしてみるとこうなりますということなのでこれをもって、
01:33:58	全周期体への適用性がすべて確認できましたというよりも、この観測記録を確認したことによって、少なくともその適用性を否定するようなことにはなりませんでしたと。
01:34:11	ということなのかなと思いますので、ちょっとそこは、全体の論理構成という話の流れとここで確認できたことは何というのをもうちょっと正確に表現したいと思います。
01:34:23	はい規制庁佐口です今のご説明で趣旨はわかりました。そこは何か誤解を生まないような、少なくとも表現でお願いしたいと思います。
01:34:54	はい。
01:34:56	よろしいですかね。
01:35:00	ちょっとまずは入口のところを見直していただかないとというのがあるので、
01:35:05	と言いつつ、一部の結果も出てるんで、
01:35:09	すいませんウェブで参加してる田嶋さん、手挙げましたね。お願いしますどうぞ。
01:35:17	浜辺驚見はい。とですね、ちょっと皆さんの確認事項を聞いていて大体高校生みたいのがわかってきたんですけどね、念のためちょっともう一度全体の
01:35:31	ストーリーとして、どういうふうな出張というか流れを考えたの資料なのかというのはちょっと認識合わせの意味でちょっと私の理解をちょっと。
01:35:43	述べますのでもしそうではないんだよとかいうことがあったら、教えてください。資料としては、先ほどもちょっと出たかもしれないけど、11ページをちょっと。
01:35:56	と見ていただきたくて11と12のところなんですけど。
01:36:01	これ、もともとの

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:36:04	そうですね。大きな話として、1化モデルっていうのは限界とかも一緒だったと思うんですけど、保守性が、
01:36:14	ある大きな保守性があるんですよっていうのが前提だったモデルって、それに対して、今回、観測記録が既許可以降、
01:36:25	蓄積されたので、それが主に浅部浅いところの、に関する情報ですよと、なんでそういうのがたまったので、蓄積されたので、
01:36:39	もう少し精緻化できるんじゃないかということで、ある意味大きな保守性を特に短周期で持ってるんじゃないかと考えてたものを、少しその保守性を、精度が上がるので保守性をもうちょっと、
01:36:53	削っ漏斗をして、この左 11 ページの左側の申請モデルで申請してきたんだけど、
01:37:02	この 0.1 秒から 0.2 秒のところ、ちょっと観測、浅いところだけで見たとしても、ちょっと過小評価になってるという課題が出てきたので、
01:37:15	どうしようかということに、が出てきたんで、そうであれば、市長かモデルに、であればもともとその部分は問題なかったんで、
01:37:26	その部分の保守性を削るということ、取り止めて、既許可のままでいくし、そうすると概ね、
01:37:36	観測を浅いところでの確認に今回はデータの蓄積の都合上、限られますけど、確認できましたというストーリーで、見直しモデルっていう 12 ページの方は、
01:37:48	例えばまだ何も議論してないんだけど、見直そうとした場合も、例えばこういうモデルにしてみると、
01:37:57	多少この 0.1 分か 0.2 分はもちろん改善されるんだけど、この部分は既許可、
01:38:04	ノー観測。
01:38:06	と、モデルの違い等を比較しても、
01:38:10	同と同じ程度ぐらいの改善にどのみちなるし、これ、これでいいというふうにすぐ、決着がつけられるものでもないんで、
01:38:23	既許可のモデルにそのままにしますよというような、そういう何て言うんですかね。
01:38:30	考え方で、
01:38:32	浅部での確認とかを、念のためまわしてますよというような、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:38:39	そういう資料を作ろうとされているという認識で大丈夫ですかね。いろいろこの辺り、少し、
01:38:46	言葉とか言い回しがというところは、直すとしても、
01:38:50	おっしゃりたい方向性としてはそういうことでよろしいでしょうか。
01:38:56	はい。九州電力の本村でございます。今田嶋さんが細かく言っていたいたような感じで巢子のような方針で、
01:39:07	かなというふうに我々思ってます。はい。以上です。
01:39:13	長田下です。はい、わかりました。
01:39:17	そしたら多分そのあたりの流れが、
01:39:20	そうですね、この資料で見てた時に多分、
01:39:25	わかるように、
01:39:27	なると、おそらくおのずとこの12ページも見直しの話ですとかも、そうですね位置付けが、
01:39:37	わかりやすくなるんじゃないかなと思いましたが、はい。
01:39:41	ありがとうございます認識、特にこちら、注いなさそうだとということがわかりましたので、はい。ありがとうございます。
01:39:57	はい田嶋さんありがとうございます。
01:40:00	特に本店の方からとか、或いは九州電力がないか確認。
01:40:04	ありますか大丈夫ですか。
01:40:08	はい。そうしましたらこれちょっと1回目のヒアリングでちょっと口銭を見直していただくと質問を。
01:40:18	あんまり次のヒアリング間のアイテムというところあるので、ちょっとこの1個前にやった限界の方ですかね、あちらの方の会合資料をっていうところも平行になるので、どちらを優先するかは言わずもがななんですけど、
01:40:32	ちょっともう1回2回目のヒアリングは当然ありますので、こちらの方も早急に資料の方は修正をして、資料の提出とヒアリングの申し込みをお願いします待ってますので、はい。
01:40:45	じゃあよろしければ、ヒアリングじゃこれで終了しますか。
01:40:49	はい。お疲れ様でした以上です。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。